事業番号	195

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市営住宅施設整備事業							担当部	都市建設部	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	建築課	
	事業期間	平成12年度以前 ～ 平成31年度以降							担当係	営繕係	
	総合計画分野別計画 主目的	6 都市基盤 28 住宅 2 適正に市営住宅を管理・運営します									
	総合計画分野別計画 副目的									実施計画対象	○
	予算区分	款	8	項	5	目	1	大	2	中	2
	根拠法令・個別計画	公営住宅法・小牧市市営住宅条例・小牧市公営住宅等長寿命化計画									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	市営住宅や共同施設を適切に整備し、住宅に困窮する低額所得者に住宅を供給することにより居住水準の向上を図る。									
	内容（手段）	下記、市営住宅の適正管理のため、適宜、改修工事等を行う。 市営鷹之橋住宅　24戸（1棟） 市営大輪住宅　　68戸（3棟） ◆26年度実施内容 ・平成25年度に実施した設計業務により市営鷹之橋住宅屋根外壁等改修工事、同工事の監理業務委託を実施した。 【直接経費の内訳】 ・市営鷹之橋住宅屋根外壁等改修工事費（47,196千円） ・市営鷹之橋住宅屋根外壁等改修工事監理業務委託料（1,728千円） 【財源の内訳】 国費（24,038千円）＋市債（24,000千円）＋一般財源（886千円） ◆27年度実施内容 ・小牧市公営住宅等長寿命化計画により築25年を経過する住宅から順次、屋根及び外壁等の改修工事を行う計画としており、平成3年に建築した市営大輪住宅1棟が平成28年度で25年経過するため、改修工事の設計業務委託を実施する。 【直接経費の内訳】 ・市営大輪住宅1棟屋根外壁等改修工事設計業務委託料（3,018千円） 【財源の内訳】 国費（1,034千円）＋一般財源（1,984千円）									
	受益者負担	無									

				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
コスト	費用	直接経費		千円	0	2,730	48,924	3,018
		正職員	従事者数	人	0.00	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	0	1,052	1,052	1,052
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	0	3,782	49,976	4,070
		対前年比		%		#DIV/0!	1,321.4	8.1
	財源	一般財源		千円	0	1,052	1,938	3,036
		国・県支出金		千円	0	1,116	24,038	1,034
		その他財源		千円	0	1,614	24,000	0

事業番号	195

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
工事件数	件	目標	0	1	1	1
		実績	0	1	1	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
入居率	%	目標	100	100	100	100
		実績	100	100	100	
		目標				
		実績				

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	市営鷹之橋住宅屋根外壁等改修工事により長寿命化計画に記載された工事が完了し、目標を達成した。
	事業実施における課題	引き続き市営大輪住宅も計画的に修繕や改修を行うことにより、施設の長寿命化及び、ライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。
	事業を縮小・廃止したときの影響	現在ある市営住宅は、平成元年、3年、5年及び12年に建設されており、大半が築20年を超えている。今後施設の老朽化による修繕や改修等増加することが予測されるため、事業を廃止すると住環境の悪化等により、住宅供給に支障をきたす恐れがある。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	小牧市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営大輪住宅1棟の屋根外壁等改修工事設計業務委託を予定しており、平成28年度に屋根、外壁の修繕周期に達するため工事の設計を行う。設計の段階で耐久性の向上等の改善手法を洗い出し比較検討を行う。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	施設の長寿命化型改善などの手法を取り入れ、事業の効率化を進めつつ、今後も施設を適切に整備し、住宅に困窮する低所得者に住宅を供給することにより、居住水準の向上を図る必要がある。
	28年度以降の改善案	耐久性の向上等の改善手法を導入し、施設の長寿命化を図る。また、平成22年3月に小牧市公営住宅等長寿命化計画を策定しており、平成26年度から順次長寿命化型改善を行うことにより、修繕周期の延長などライフサイクルコストの縮減を図っていきたい。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。 ファシリティマネジメントの視点から、平成22年3月に策定した小牧市公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的に改修工事を実施し、建物の長寿命化を図ること。